

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	玉野市児童発達支援センター 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 55
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～ 令和7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の提供	個々に合ったスケジュール形態や活動場所の設定、活動内容を事前に準備し、提供している。事前に保護者の方へお子さんの様子について連絡帳アプリや電話で確認し、その日に提供できる課題や活動内容を設定している。	今後も専門性を高めるための研修に参加したり、学校訪問の機会を定期的に設け、他機関との連携を行ったりしていく。
2	具体的な支援内容の設定(本人支援、家族支援、移行支援、地域支援)	保護者からの相談を受け、家庭でできる支援内容について一緒に考えている。 地域支援については、年に一度マルシェを実施し、地域の方に事業所を知ってもらう機会を設けている。	今後も、保護者の方からの要望やお子さんの様子、相談支援の計画等を元に、それぞれのお子さんに合った個別の計画を作成し、支援の提供をしていきたい。
3	自己決定をする力を育てるための支援	設定していた活動が難しい場合には、本人の意向を聞き、無理のない範囲で内容や量を調整しながら取り組んでいる。	求められている課題を遂行することや、集団の中でも力を発揮していけるよう、引き続き本人への支援を丁寧に行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援や、きょうだい向けのイベントの開催等による、きょうだい同士の交流の機会が少ない。	職員のスキル、経験不足。	他事業所で開催されている実施内容について確認をしていきたい。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	放課後児童クラブや児童館側は、こちらとの交流を想定しているのかわからないため声をかけづらい。	年に1回開催しているマルシェや、長期休暇期間の療育の場面で、地域のお店にお出かけをして、様々な方との交流の機会を設けている。 小学校の校庭や児童館内のスペースと一緒に活動や交流をする機会が持てるか交渉していきたい。
3			